

令和5年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S05-01-03		
施設名	ムーブ町屋				
所在地	荒川七丁目50番9号 センターまちや3階・4階				
部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成8年	4,970,000	国・都	0
	増改築①			区債	3,470,000
	増改築②			一般財源	1,500,000
併設施設	-				
竣工年月日	平成8年6月1日	職員数	0人	その他	6人
供用開始年月日	平成8年6月1日	階層	地上22階、地下2階の内、3・4階部分		
構造	SRC造		敷地面積		
			3221.29㎡の一部		
面積	延床面積		2557.45㎡の内、2201.11㎡		
設置目的・経緯	区民文化の向上と地域のコミュニティ活動の促進を図る。				
関連部署	土木管理課、就労支援課、区民課				
根拠法令等 設置条例	荒川区ムーブ町屋条例及び条例施行規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	22台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	指定管理	(株) コングレ	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	○文化活動の実施に関する事業 ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○ムーブ町屋の施設の利用に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業					
対象者	区民及び施設利用者					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時まで				
	休日	年末年始(12月29日～1月3日)及び工事、保守点検日				
施設基本データ等	総利用人数(人)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	ホール年間利用者数(人)	79,467	6,920	72,444	47,178	75,000
	ギャラリー年間利用者数(人)	40,668	3,874	14,054	28,591	40,000
	ムーブホール稼働率(%)	20,812	464	19,907	6,134	0
	ギャラリー稼働率(%)	61	5	33	57	60
	催し物利用状況(件)	26	3	54	20	0
		1,058	309	740	844	900
に指定管理に係る費用	指定管理料(千円)	33,074	34,643	41,349	40,446	35,423
	指定管理者の支出合計(千円)	61,880	58,520	64,705	66,410	62,517
	指定管理者の人件費(千円)	35,265	35,974	40,186	38,336	30,873
	指定管理者の利用料金収入(千円)	31,032	13,569	19,373	23,855	26,944
備考	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための利用制限が緩和されたものの、ワクチン接種会場として利用された前年度と比べると、利用が減少した。					

**III 財務諸表**

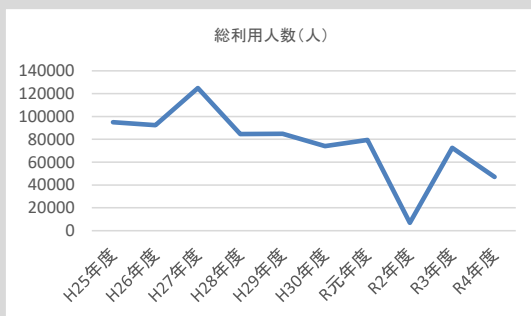
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額				
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0		
	物件費	59,628	43,457	▲ 16,171	行政支出金	0	45	45					
	維持補修費	298	1,497	1,199	都支支出金	0	0	0					
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0					
	補助費等	54,655	59,159	4,504	使用料及び手数料	0	0	0					
	減価償却費	91,001	91,001	0	その他	38	16,053	16,015					
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	38	16,098	16,060					
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 205,544	▲ 179,016	26,528					
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0					
	行政費用合計(b)	205,582	195,114	▲ 10,468	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 205,544	▲ 179,016	26,528					
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0						
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 205,544	▲ 179,016	26,528						
貸借対照表	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	2,521,026	2,430,025	▲ 91,001	土地	1,516,648	1,516,648	0	賞与引当金	0	0	0
		建物	3,370,397	3,370,397	0	建物	3,370,397	3,370,397	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 2,366,019	▲ 2,457,019	▲ 91,000	建物減価償却累計額	▲ 2,366,019	▲ 2,457,019	▲ 91,000	固定負債	0	0	0
		工作物等	0	0	0	工作物等	0	0	0	特別区債	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	工作物等減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	無形固定資産	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
		建設仮勘定	2,260	24,048	21,788	建設仮勘定	2,260	24,048	21,788	負債の部合計	0	0	0
	その他の固定資産	0	0	0	その他の固定資産	0	0	0	正味財産	2,523,286	2,454,073	▲ 69,213	
	資産の部合計	2,523,286	2,454,073	▲ 69,213	資産の部合計	2,523,286	2,454,073	▲ 69,213	正味財産の部合計	2,523,286	2,454,073	▲ 69,213	
備考	物件費の主な内訳は指定管理者委託料である。物件費の差額は、稼働率が上昇したことにより、新型コロナウイルス感染症による減収補填相当分が前年度より減額したことが主な要因である。行政収入のその他は、前年度の指定管理料返還金に伴う収入等である。												

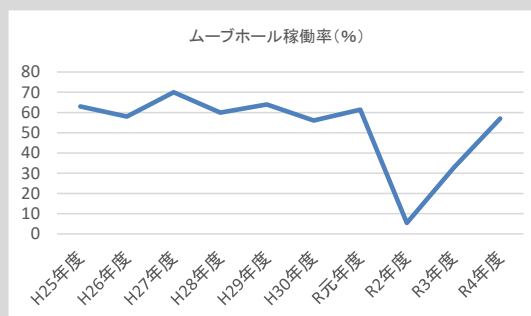
指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	65	68	70.2	72.9	72.9
1㎡当たりコスト(円)	69,054	71,234	68,558	88,643	88,643
人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	57.0	62	62.1	57.7	49.4
受益者負担比率(%)	14.0	6	8.5	10.8	10.5
利用者1人当たりのコスト(円)	2,431	28,794	2,838	4,136	2,602
開館1日当たりのコスト(円)	538,042	555,022	572,652	543,493	543,493
区民1人当たりコスト(円)	889	918	884	898	898
財務指標・評価指標等					
備考	3年度は、前年度と比較して新型コロナウイルス感染拡大の影響が落ちついたため、稼働率が上昇し、開館1日当たりのコスト、利用者1人当たりのコスト、区民1人当たりコストが前年度に比べ減少した。				

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用人数	目標値 32,500	5,000	20,000	80,000	75,000
		実績値 79,467	6,920	72,444	47,278	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成8年度:荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度:指定管理者制度導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応					
現状・課題	<p>○開館から26年を経て、施設全体の老朽化が目立ち始めているため、適切な保守により維持管理に努める必要がある。修繕実施にあたっては、指定管理者とセンターまちや管理組合との連絡・調整が必要である。</p> <p>○利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの対応が求められる。</p> <p>○地域の賑わい創出及び利用者の拡大を図るため、自主事業等の積極的な企画・実施が求められる。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○関係部署や施設と調整し、町屋区民事務所の移転とあわせて今後の修繕計画を検討する。</p> <p>○利用者のニーズに柔軟に対応していけるよう、指定管理者と施設管理やサービス向上策について緊密な連携を図っていく。</p> <p>○施設稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取り組みを指定管理者と協議し、検討していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						



令和4年度は新型コロナウイルス感染対策の制限緩和などもあったが、ワクチン接種会場としての利用があった前年度と比較すると利用人数は減少した。



令和4年度は感染状況の改善等に伴い、前年度より稼働率は増加に転じた。

令和5年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S05-01-01		
施設名	区民会館（サンパール荒川）				
所在地	荒川一丁目1番1号				
部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和50年	1,950,000		
	増改築①	平成4年	1,540,000	0	1,540,000
増改築②	平成27年	2,460,000	110,000	1,940,000	410,000
併設施設					
竣工年月日	昭和50年3月26日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和50年3月26日		職員数	0	37
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造		階層	地下1階、地上6階	
面積	敷地面積	4279.01㎡			
	延床面積	10044.09㎡			
設置目的・経緯	区民の文化振興のため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区民会館条例				
駐車場の状況	18台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	111台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	指定管理	(株)ケイミックスパブリックビジネス	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	○文化活動の実施に関する事業 ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○会館の施設の利用に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業					
対象者	区民及び施設利用者					
運営時間等	運営時間	午前9時から午後10時まで				
	休日	年末年始(12月29日~1月3日)及び工事、保守点検日				
施設基本データ等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	大ホール年間利用者数(人)	128,736	28,519	57,443	91,958	92,000
	小ホール年間利用者数(人)	45,743	14,747	19,002	28,593	29,000
	集会室年間利用者数(人)	64,599	19,349	83,044	89,397	90,000
	大ホール貸出稼働率(%)	58	24	66	81	85
	小ホール貸出稼働率(%)	57	31	56	65	70
	集会室貸出稼働率(%)	40	20	59	56	55
	催し物利用状況(件)	557	344	708	723	730
に指定管理に係る費用	指定管理料(千円)	150,563	129,498	146,132	150,258	175,859
	指定管理者の支出合計(千円)	220,378	194,594	214,636	230,480	241,185
	指定管理者の人件費(千円)	40,926	36,117	36,552	32,592	39,733
	指定管理者の利用料金収入(千円)	79,236	76,746	84,352	97,261	68,377
備考	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況の改善等に伴い、また、新規利用者の定着等により、ホールの利用が大幅に増え、コロナ禍前より高い稼働率となった。集会室は、令和3年度に引き続きワクチン接種会場として利用していたため、令和4年度の利用者数に反映されている。					

**III 財務諸表**

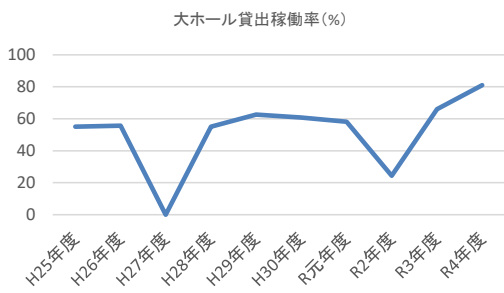
(単位:千円)

	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
		行政コスト計算書	行政費用				行政収入	
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	178,495	175,291	▲ 3,204	国庫支出金	0	282	282
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	60	410	350	使用料及び手数料	989	1,571	582
	減価償却費	1,258	582	▲ 676	その他	15,045	13,282	▲ 1,763
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	16,034	15,135	▲ 899
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 163,779	▲ 161,148	2,631
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3,024	▲ 2,764	260
	行政費用合計(b)	179,813	176,283	▲ 3,530	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 166,803	▲ 163,912	2,891
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 166,803	▲ 163,912	2,891
貸借対照表	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	190,766	194,752	3,986
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	190,766	194,752	3,986
	有形固定資産	125,538	141,378	15,840	賞与引当金	0	0	0
	土地	125,538	125,538	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	1,955,347	1,971,187	15,840	固定負債	949,148	754,396	▲ 194,752
	建物減価償却累計額	▲ 1,955,347	▲ 1,955,347	0	特別区債	949,148	754,396	▲ 194,752
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	1,139,914	949,148	▲ 190,766
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 991,381	▲ 785,358	206,023
	その他の固定資産	22,995	22,412	▲ 583	正味財産の部合計	▲ 991,381	▲ 785,358	206,023
資産の部合計	148,533	163,790	15,257	負債及び正味財産の部合計	148,533	163,790	15,257	
備考	物件費の主な内訳は指定管理者委託料である。行政収入のその他は指定管理者からの利益納付金(収支差額の1/2)等である。							

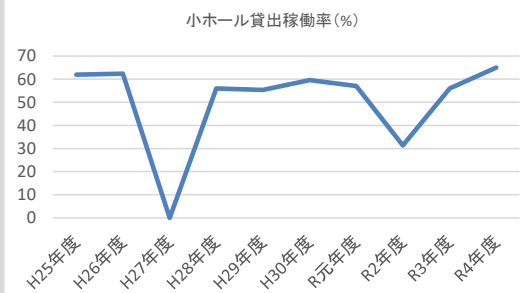
指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	99.2	99.2
1㎡当たりコスト(円)	19,137	23,794	17,902	17,551	17,551
人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	19	19	17	14.1	16.5
受益者負担比率(%)	30	25	34	37.9	28.3
開館1日当たりコスト(円)	535,404	665,716	500,872	491,039	491,039
利用者1人当たりコスト(円)	804	3,817	1,127	840	835
区民1人当たりコスト(円)	885	1,100	828	811	811
財務指標・評価指標等					
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により稼働率が大幅に低下したため、開館1日当たりのコスト、利用者1人当たりのコスト、区民1人当たりコストが増加した。令和3年度以降は稼働率の上昇に伴い、コストも減少傾向にある。				

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用人数	目標値 300,000	100,000	250,000	250,000	250,000
		実績値 239,078	62,615	159,489	209,948	210,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成2年度:荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度:指定管理者制度導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応					
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成4年度(第1回)、平成27年度(第2回)に大規模改修を実施した。</li> <li>○施設の老朽化を踏まえ、計画的に修繕を行う等、施設の保全に努める必要がある。</li> <li>○敷地の一部が東京都市計画道路補助線街路第90号線の予定地であるため、整備後に施設運営に支障がでないよう、関係機関と調整を図る。</li> <li>○利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの対応が求められる。</li> <li>○さまざまな事業を実施し、区民が芸術・文化に親しむことができる環境を整備する必要がある。</li> </ul>					
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市計画道路整備の影響が最小限となるよう関係機関に要請していく。</li> <li>○利用者ニーズに柔軟に対応できるよう、指定管理者と施設管理やサービス面上策について緊密な連携を図っていく。</li> <li>○ラウンジを活用した賑わい創出や自主事業のさらなる充実等について、指定管理者と協議をしていく。</li> </ul>					
議会、利用者等からの意見	平成27年度9月会議 「荒川区民会館の長寿寿命について」 令和2年度9月会議 「サンパール荒川の今後の在り方について」					



令和2年度は、緊急事態宣言による施設の休館等があったため稼働率が大幅に減少したが、令和3年度以降は感染状況の改善等に伴い、増加に転じた。



令和2年度は、緊急事態宣言による施設の休館等があったため稼働率が大幅に減少したが、令和3年度以降は感染状況の改善等に伴い、増加に転じた。



令和5年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S05-01-02		
施設名	日暮里サニーホール				
所在地	東日暮里五丁目50番5号 ホテルラングウッド4階・5階				
部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成元年	2,000,000	国・都	0
	増改築①			区債	0
	増改築②			一般財源	2,000,000
併設施設	-				
竣工年月日			区職員	0人	
供用開始年月日	平成元年2月9日		職員数	0人	
構造	SRC造		階層	地上13階、地下3階の内、4・5階部分	
面積	敷地面積		3100.03㎡の一部		
	延床面積		23562.71㎡の内、2311.28㎡		
設置目的・経緯	区民文化の向上と地域のコミュニティ活動の促進を図る。				
関連部署	経理課				
根拠法令等 設置条例	日暮里サニーホール条例及び条例施行規則				
駐車場の状況	3台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	指定管理	(株) コングレ	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	○文化活動の実施に関する事業 ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○サニーホールの施設の利用に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業					
対象者	区民及び施設利用者					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時まで				
	休日	年末年始(12月29日～1月3日)及び工事、保守点検日				
施設基本データ等	総利用者数(人)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	ホール年間利用者数(人)	143,985	17,149	47,387	63,054	90,000
	サロン年間利用者数(人)	69,144	6,508	21,989	35,013	50,000
	ホール稼働率(%)	33,060	4,736	13,601	19,305	25,000
	サロン稼働率(%)	63	10	32	52	70
	催し物利用状況(件)	88	21	58	79	85
		773	213	656	801	900
に指定管理に係る費用	指定管理料(千円)	40,197	33,250	56,330	49,455	45,609
	指定管理者の支出合計(千円)	109,618	104,154	96,062	95,846	102,277
	指定管理者の人件費(千円)	56,452	58,962	53,292	46,401	43,313
	指定管理者の利用料金収入(千円)	57,583	28,997	33,112	46,653	56,518
備考	令和4年度は前年度に比べ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための利用制限が緩和され、また感染状況の改善等に伴い、利用が増えた。					

**III 財務諸表**

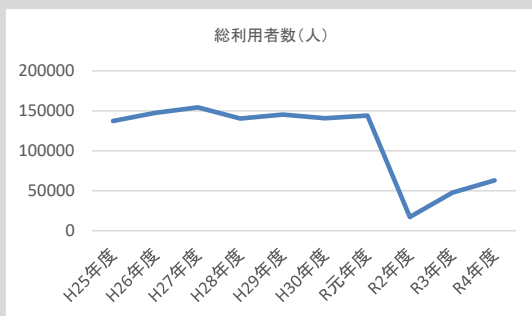
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	91,188	53,356	▲ 37,832	国庫支出金	0	92	92
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	11,869	9,051	▲ 2,818	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	36,010	36,010	0	その他	4,874	36,044	31,170
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,874	36,136	31,262
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 134,193	▲ 63,226	70,967
	その他行政費用	0	945	945	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	139,067	99,362	▲ 39,705	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 134,193	▲ 63,226	70,967
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 134,193	▲ 63,226	70,967	
貸借対照表	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	145,374	109,364	▲ 36,010	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	1,333,703	1,333,703	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 1,188,330	▲ 1,224,340	▲ 36,010	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	正味財産	151,312	115,302	▲ 36,010	
建設仮勘定	2,938	2,938	0	正味財産の部合計	151,312	115,302	▲ 36,010	
その他の固定資産	3,000	3,000	0	負債及び正味財産の部合計	151,312	115,302	▲ 36,010	
資産の部合計	151,312	115,302	▲ 36,010					
備考	物件費の主な内訳は指定管理者委託料である。物件費の差額は、稼働率が上昇したことにより、新型コロナウイルス感染症による減収補填相当分が前年度より減額したことが主な要因である。その他行政費用は、防犯カメラ等設置に係る工事請負費である。行政収入のその他は、前年度の指定管理料返還金に伴う収入等である。							

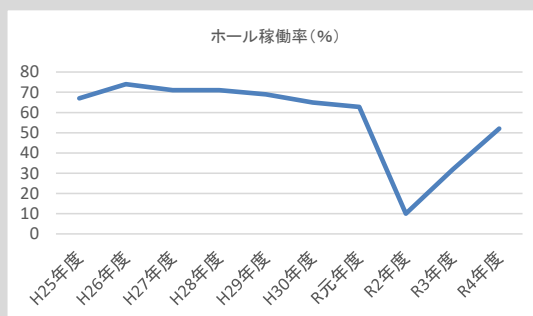
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	84	86	89.1	91.8	91.8
	1㎡当たりコスト(円)	44,979	58,390	60,169	42,990	42,990
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	52	57	55.5	48.4	42.3
	受益者負担比率(%)	33	14	19	32.0	28.0
	開館1日当たりコスト(円)	289,582	375,922	387,373	276,774	276,774
	利用者1人当たりコスト(円)	722	7,870	2,935	1,576	1,104
	区民1人当たりコスト(円)	479	621	640	457	457
備考	3年度は、前年度と比較して新型コロナウイルス感染拡大の影響が落ちついたため、稼働率が上昇し、開館1日当たりのコスト、利用者1人当たりのコスト、区民1人当たりコストが前年度に比べ減少した。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	利用人数	目標値 72,000	7,200	50,000	145,000	90,000
		実績値 143,985	17,149	47,387	63,054	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成1年度:荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度:指定管理者制度導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応					
現状・課題	<p>○開館から33年を経て、施設全体の老朽化が目立ち始めているため、適切な保守により維持管理に努める必要がある。修繕の実施にあたっては、指定管理者とホテルラングウッドとの連絡・調整が必要である。</p> <p>○利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの対応が求められる。</p> <p>○地域の賑わい創出及び利用者の拡大を図るため、自主事業等の積極的な企画・実施が求められる。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○関係部署や施設と調整し、今後の修繕計画について検討する。</p> <p>○利用者ニーズに柔軟に対応していけるよう、指定管理者と施設管理やサービス向上策について緊密な連携を図っていく。</p> <p>○施設稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取り組みを指定管理者と協議・検討していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						



令和4年度は感染状況の改善等に伴い、利用人数は増加に転じた。



令和4年度は感染状況の改善等に伴い、稼働率は増加に転じた。